

## 日本光学会平成 21 年度第 189 回幹事会議事録

日 時： 2010 年 1 月 27 日(水) 午後 1 時 30 分～ 5 時

場 所： 機械振興会館地下 3 階研修 2 号室

参加者： 谷田貝幹事長， 他 48 名

議 事：

### 1. 第 2 回常任幹事会議事録の確認

- ・ 第 2 回常任幹事会議事録は承認された。

### 2. 平成 22 年度幹事選挙結果報告

- ・ 平成 22 年度幹事選挙により， 幹事会推薦候補者 23 名全員が選出されたことが報告された。

### 3. 次期幹事長選挙

- ・ 谷田貝幹事長から電気通信大学の武田光夫教授が推薦された。その後の選挙で， 出席した来年度幹事全員からの得票により， 武田教授が次期幹事長に選任された。

### 4. 次期幹事役職審議および幹事自己紹介

- ・ 平成 22 年度幹事の役職構成が提示され， 全役職が承認された。
- ・ 現幹事および新任幹事の自己紹介が行われた。

### 5. 旅費交通費に関する説明

- ・ 日本光学会の幹事会・委員会等に出席する際の旅費交通費/日当の支給について， 内規に従って行われることと， その申請方法が説明された。

### 6. 報告事項

#### 6-1. 「光学」関連報告

##### (1) 「光学」編集報告

- ・ 2009 年のまとめとして， 発行実績， 特集題目， 編集委員会等の状況が報告された。
- ・ 3 か月に一度の編集委員会では処理内容が膨大になるため， 2 か月に一度に戻す可能性が報告された。これに対して， 電話会議等を利用してはどうかとの意見が出された。

#### 6-2. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

##### (1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・ Vol.17, No.1 までの掲載および投稿論文状況が報告された。

##### (2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・ 2009 年 1 年間でのアクセス数の多かった論文上位 3 件が報告された。また， OR へのアクセス数が示され， やや減少傾向であることが報告された。
- ・ Vol. 16, No. 6 までの出版費用の詳細が報告された。

##### (3) 「OPTICAL REVIEW 出版副委員長候補者」の承認

- ・ 佐々木修己出版委員長より， 茨城大学の今井洋教授が出版副委員長として推薦され， 承認された。

#### 6-3. 講演会関連報告

##### (1) 電気関係学会北陸支部連合大会 (2009.9/12-13) 結果報告

- ・ 収支の最終報告がなされ， 収支が 0 であったことが報告された。

##### (2) 平成 21 年度名古屋講演会 (2009.10/14) 収支結果報告

- ・ 開催概要， および総勢 57 名で実施されたことが報告された。また， 収支の最終報告がなされた。

##### (3) カラーフォーラム JAPAN 2009 (2009.11/3-5) 収支結果報告

- ・ 開催概要と収支が報告された。最終の委員会後に収支について最終報告する予定であることが報告された。

##### (4) Optics & Photonics Japan 2009 (2009.11/24-26) 収支結果報告

- ・ 講演件数， 参加者数， および確定が報告された。

##### (5) 平成 21 年度北海道地区合同学術講演会 (2010.1/8-9) 結果報告

- ・ 開催概要と講演件数， 奨励賞受賞者が報告された。

##### (6) 第 36 回冬期講習会 (2010.1/21-22) 結果報告

- ・ 開催概要， および総勢 108 名で実施され大変盛況であったことが報告された。また， 概算の収支報告がなされた。

##### (7) 平成 21 年度関西講演会 (2010.1/20) 結果報告

- ・ 講師 2 名を迎え， 総勢 31 名で実施されたことが報告された。参加人数は例年に比べて少なく， 特に企業からの参加者の減少が目立ったことが報告された。

##### (8) 第 43 回光学五学会関西支部連合講演会 (2010.1/30) 進捗報告

- ・ 2010 年 1 月 30 日 (土) に大阪市立文化交流センターにて， 「光を介した宇宙との出会い」をテーマとして開催されることが報告された。

- ・ 事前申込期間を延長して参加者を募集中であることが報告された。

##### (9) 第 5 回光応用新産業創出フォーラム (2010.2/26) 進捗報告

- ・ 2010 年 2 月 26 日 (金) 慶應義塾大学三田キャンパスにて開催されることが報告された。広報活動， 過去の実績に基づく予算計画等の進捗状況が報告された。

#### (10) Optics & Photonics Japan 2010 進捗報告

- ・開催日程の調整等の準備状況が報告された。
- ・運営について (株)アドスリーへ委託することが承認された。

#### (11) 第35回光学シンポジウム (2010.7) 進捗報告

- ・過去の実施結果に基づいた予算計画案が報告された。
- ・講演に関して、招待講演5件決定したこと、および一般講演の募集を開始したことが報告された。
- ・ホームページの掲載開始、雑誌掲載依頼、チラシ配布、ポスター準備等の進捗状況が報告された。

#### 6-4. その他報告事項

##### (1) 協賛 (後援・共催) 依頼について

- ・前回から今回の幹事会までの期間に協賛依頼がなかったことが報告された。

##### (2) 会員動静について

- ・12月末の会員数が前月末に比べて74名減少し、1,759名であることが報告された。

##### (3) 収支計算書について

- ・2009年1月1日から11月30日までの収支が報告された。

##### (4) 日本光学会ホームページについて

- ・2009年11月24日から2010年1月17日までの日本光学会ホームページへのアクセス数が示された。
- ・光学シンポジウムと冬期講習会のページへのアクセス数が増加していることが報告された。
- ・レイチャースystemズ社とのバナー広告の契約が中止となったことが報告された。

##### (5) 平成21年度論文賞報告

- ・受賞者が内田淳史氏 (埼玉大学) と藤田克昌氏 (大阪大学) に決定したことが報告された。
- ・来年への引き継ぎ事項として、候補者への連絡等、応用物理学会関連連合講演会での講演の準備を迅速に行うように幹事長より要請された。

##### (6) 500人会員増計画進捗

- ・各イベントでの入会勧誘等会員増のための取り組みを継続していることが報告された。

##### (7) 平成21年度日本光学会総会日時について

- ・2010年3月18日 (木) 13:00~13:45に、第57回応用物理学会関連連合講演会会場 (東海大学湘南キャンパス) にて行われることが報告された。

##### (8) 行事参加割引券の発行について

- ・平成21年度の発行実績として122枚、利用実績25枚であったことが報告された。平成22年度は平成21年度と同様の内容で継続されることが承認された。

#### (9) 将来ビジョン・アカデミックロードマップ報告

- ・将来ビジョン・アカデミックロードマップ検討会について報告された。将来ビジョンマップ、発展史マップの内容について承認されたことが報告された。
- ・今後、将来ビジョンマップ・発展史の図面・原稿作成、応用物理学会関連連合講演会の予稿、応用物理学会機関誌「応用物理」のロードマップ特集号の原稿を準備することが報告された。

#### 7. 審議事項, その他

##### (1) 平成22年度活動年間計画案

- ・日本光学会の平成22年度の年間計画が報告された。日程表の中に応用物理学会の理事会等関連する行事を記入してはどうかとの意見が出された。

##### (2) 国際協力支援金 (ODF 2010) 審議

- ・7th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication (ODF '10, Yokohama) の開催に向けて国際協力支援金が申請された。申請額は50万円であったが、内規に基づき30万円支援することが承認された。

### 第3回常任幹事会

2010年3月8日 (月) に、応用物理学会会議室 (九段下) において開催されました。第189回幹事会議事録の確認、「光学」編集報告、「OR」編集・出版報告、第35回光学シンポジウム進捗報告、OPJ 2009最終報告、OPJ 2010進捗報告、第36回冬期講習会収支報告、平成21年度北海道地区合同学術講演会結果報告、平成21年度光学五学会関西支部連合講演会結果報告、平成21年度関西講演会結果報告、第5回光応用新産業創出フォーラム結果報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、日本光学会ホームページ報告、500人会員増計画進捗報告、研究グループ活動報告、アカデミックロードマップ報告がなされました。さらに、総会資料となる事業報告・会計報告について、公益・社会事業資金運営内規について、平成22年度年間計画案、新研究グループの設立 (偏光計測・制御技術研究グループ)、行事参加割引券について、審議および報告がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第39巻第7号に掲載予定です。

### 第248回「光学」編集委員会

2010年3月9日 (火) に「光学」編集委員会が開催されました。今回は、第39巻第10~12号の企画決定、第40巻第1~3号の第二次構想案、第40巻第5~7号の第一次構想案の審議、第40巻第8、9号の号担当の決定が行われました。その後、書評進捗状況についての報告、論文投稿・審

査状況、各号の進捗状況、会計等の報告がなされました。また、第4号の「光学界の進展」の趣旨・意義および執筆者の選考方法等について議論され、今後、見直しを含めて次回までに素案を策定することになりました。さらに、年間4回の開催回数に対して検討され、議論の質等の観点から、次年度は再び元のように6回の編集委員会を行う方向で調整を進めることになりました。

## 平成 21 年度日本光学会総会

平成 21 年度総会は 2010 年 3 月 18 日 (木) に東海大学において開催され、まず谷田貝幹事長より幹事長挨拶が行われたのち、今年度の動向についての説明がありました。

- ・引き続き経済状況が厳しい中であって、各企画への参加者がなかなか伸びないが、光学会の発展と会員へのサービス向上を目指し継続的に努力していく。
- ・会員数も微減の状況が継続的に続いているが、若い研究者をはじめ会員を増やしていきたい。
- ・OPJ 2010 では、SPIE の会長を招いて特別講演を企画した。グローバリゼーションが進む中で、日本光学会として、今後もさらに国際化を展開していきたい。
- ・最後に、任期を無事全うすることができ、皆様方のご指導、ご協力に感謝の意を表したい。
- ・厚海庶務幹事(総務)より平成 21 年度事業報告および平成 22 年度事業計画、向井会計幹事より平成 21 年度決算報告、飯塚会計幹事より平成 22 年度予算案が提示され、承認された。
- ・総会に引き続き、平成 21 年度光学論文賞授賞式が行われ、内田淳史氏(埼玉大学)と藤田克昌氏(大阪大学)が受賞された。授賞式終了後、内田氏と藤田氏による光学論文賞受賞記念講演が行われた。

なお、日本光学会の平成 21 年度事業および平成 22 年度の計画などに関する情報は、第 39 巻第 7 号の「日本光学会平成 21 年度年次報告」に詳細が掲載される予定です。

## 第 13 回光設計賞募集要項

光設計研究グループでは、光設計分野における技術交流・研究活性化を目的として、下記の要領にて「第 13 回光設計賞」を実施します。光設計分野における研究・開発に携わる皆様からの、積極的なご応募をお待ちしています。

### 1. 趣旨・目的

- ・「光設計」に関する成果を公開する場を設けることにより、同分野の研究および技術の交流を活発に行う。
- ・「光設計」に関する優れた研究、技術、発明に授賞す

ることにより、同分野の研究推進・活性化に寄与する。

### 2. 応募要領

- ・技術領域：「光設計」に関する研究や技術発明を対象とします。対象となる技術分野は、レンズ設計・光学設計をはじめ、光学系の加工・測定・評価、光学設計ソフト等、光学系・光学素子等の設計に関連する分野、また適用分野としては、回折光学、光記録、軟 X 線光学、光コンピューティング、光集積回路、補償光学、非結像光学、光学薄膜等の光学分野も含まれます。
- ・応募形式：応募は自薦のみとします。(推薦したいものがありましたら、本人に応募を促してください。)
- ・応募資格：特にありませんが、以下にご注意ください。(1) 筆頭受賞者で日本光学会員以外の方は、受賞と同時に日本光学会に入会いただきます。(2) 筆頭受賞者で光設計研究グループ会員以外の方は、光設計研究グループに入会していただきます。後者に関しては、受賞年度の年会費を免除いたします。
- ・応募の制約：公開済み・未公開は問いません。公開済みの場合には、公開されてから 5 年以内(2004 年 11 月以降に公開されたもの)を目安とします。公開形式と公開日は自己申告とし、申告内容が確認できる資料を必ず添付してください。未公開の場合は、必要であれば応募前に特許出願などを済ませておいてください。一人あたりの応募件数の制限はありません。
- ・応募の書式  
応募用紙：ホームページ (<http://www.opticsdesign.gr.jp/>) より指定の書式の応募用紙をダウンロードし、技術内容をご記入ください。応募用紙に記載された内容をもとに審査を行いますので、訴求したい点は必ず応募用紙にご記載ください。応募用紙のダウンロードができない場合等は、下記までお問い合わせください。  
添付資料：応募用紙記載の内容を確認するための資料です。応募用紙と合計で A4 用紙 20 枚以内となるように、適宜縮小コピーやページの抜粋を行ってください。
- ・応募方法：E-mail でご応募願います。応募用紙を PDF 形式ファイルかまたは Microsoft Word 書式ファイルにてご準備ください。添付資料もメールに添付してご送付いただいで結構です。メールのサイズが大きくなる場合には、1 メールあたり 4 MB 未満になるように分割してください。なお、E-mail での送付が困難な場合に限り、郵送でも受け付けます。

・応募の宛先・問合せ先：〒101-0022 東京都千代田区  
神田練堀町3番地 富士ソフトビル サイバネットシ  
ステム(株) 応用システム事業部 オプティカルソ  
リューション部 秋山健志

電話 03-5297-3424 E-mail: odp13@opticsdesign.gr.jp

・募集期間：2009年11月4日～2010年5月31日(必  
着)

### 3. 審査項目

・「将来性」「実用性」「独創性」の3つの観点で審査しま  
す。

### 4. 表彰

・表彰の場：光設計研究グループの関係する会合にて  
発表・表彰を行う予定です。

・時期：2010年秋

・賞金：光設計大賞10万円(1件)、光設計優秀賞  
3万円(若干数)

### 5. その他

・受賞者には光設計研究グループの研究会等にて口頭発  
表をお願いする可能性があることをご承知ください。

## 第35回光学シンポジウム「光学システム・光学素子 の設計、製作、評価を中心として」

期日：2010年7月8日(木)、9日(金)

場所：東京大学生産技術研究所 An棟コンベンション  
ホール(東京都目黒区駒場4-6-1)

主催：日本光学会

問合せ先：(株)東芝 研究開発センター 岡野英明

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1

電話 044-549-2329 Fax 044-520-2057

E-mail: optsympo35@beetle.ocn.ne.jp

詳細は光学シンポジウムホームページをご覧ください。

URL: <http://annex.jsap.or.jp/OSJ/meet/symposium/index.shtml>

## 光設計研究グループ第44回研究会「3D映像技術と光 設計」

日時：2010年6月11日(金) 10:20～17:30

場所：板橋区立グリーンホール2Fホール(東京都板橋  
区栄町36-1)

主催：日本光学会光設計研究グループ

共催：板橋区

プログラム：①「3D映像表示技術とトレンド(仮題)」松  
本郁夫(ふじわらロスチャイルドリミテッド)、②  
「前方開放両眼波面センサー—natural viewing condi-

tion(仮題)」小林真理子(トプコン)、③「3Dディス  
プレイの光設計と標準化/人間工学の観点」上原伸一  
(ISO/TC 159国内対策委員会・NEC液晶)、④「DFD  
(Depth-Fused 3D) ディスプレイの開発と最近の進展」  
伊達宗和(NTT)、⑤「インテグラルイメージング方  
式3Dディスプレイ(仮題)」最首達夫(東芝)、⑥  
「gCubik 一手に取り複数人で鑑賞できるキューブ型裸  
眼3Dディスプレイ」吉田俊介(NICT)、⑦「超多  
眼・高密度指向性表示による自然な立体ディスプレ  
イ」高木康博(農工大)、⑧「単眼1レンズ微小視差立  
体カメラ(仮題)」竹内幸一(電通大)

参加費：光設計研究グループ個人会員4,000円、光設計研  
究グループ学生会員無料、一般10,000円、板橋区民・  
企業7,000円、学生一般2,000円、当日、受付にてお支  
払いください。

定員：100名(定員になり次第締め切ります)

参加申込：氏名(フリガナ)、所属、住所、電話、Fax、  
E-mail、参加区分(参加費参照)、懇親会(無料)参加  
の有無を、E-mailまたはFax、郵送にて下記申込先ま  
でお送りください。

申込先：(株)ニコン 映像カンパニー第三設計部第四設計  
課 荒井大作

〒140-8601 東京都品川区西大井1-6-3

電話 03-3773-8064 Fax 03-3773-7063

E-mail: k44reg@opticsdesign.gr.jp

問合せ先：(株)東芝 研究開発センター 機械システムラ  
ボラトリー 高峯英文

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1

電話 044-549-2329 Fax 044-549-2382

E-mail: k44@opticsdesign.gr.jp

URL: <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

詳細は光設計研究グループのホームページをご覧ください。

## 第16回微小光学特別セミナー「微小光学の基礎と発 展」

日時：2010年6月15日(火) 9:30～17:00、6月16日  
(水) 9:30～17:50

場所：東京大学生産技術研究所総合研究実験棟2階コン  
ベンションホール

主催：日本光学会微小光学研究グループ

プログラム：6月15日(火) 9:30～17:00 ①「はじめ  
に—光学のいろは—」黒田和男(東大)、②「波動光  
学の基礎—反射と屈折、偏光、回折—」本宮佳典(東  
芝)、③「光の導波—光ファイバーを中心に—」山下

真司 (東大), ④「半導体レーザー—微小な光源の基礎—」宮本智之 (東工大), ⑤「光信号伝送—遠くから近くまで—」植之原裕行 (東工大), ⑥「光ファイバーセンサー—「伝送」から「伝感」へ—」何祖源 (東大) 17:10~18:10 懇親会 (無料)

6月16日(水) 9:30~17:50 ①「発光ダイオード—LEDの物理と応用—」波多腰玄一 (東芝リサーチコンサルティング), ②「ディスプレイ—微小な大画面—」笹川智弘 (三菱電機), ③「DOE—高効率化の技術—」塩野照弘 (パナソニック), ④「フォトニック結晶とシリコンフォトニクス—光集積の新展開—」馬場俊彦 (横浜国立大), ⑤「プラズモニクス—光と電子のハーモニー—」岡本隆之 (理研), ⑥「光とエネルギー—古くて新しい太陽光エネルギー—」森伸芳 (コニカミノルタオプト), ⑦「総括—なるほどそうなのか—」寺田佳弘 (フジクラ)

参加費: 5月14日まで申し込みの場合, 一般20,000円, 学生4,000円. 5月15日以降申し込みの場合, 一般22,000円, 学生5,000円. 1日単位の申し込みは不可, 資料代含む.

参加要項: ①住所, 氏名, 所属, 電話, Fax, E-mail, ②参加費振込予定日, 会社等で複数人数分を一緒に振り込まれる場合は, そのお名前と内訳, ③その他 (セミナーへのご要望事項等があれば) をご明記の上, E-mail, または郵送, Fax で下記申込先までお送りください. 申し込み受付後, 申込者宛に請求 (受付確認) 書をご送付 (送信) します. 微小光学研究グループホームページにある申込フォーマットをご利用いただいても結構です.

参加費振込先: [口座名] 微小光学事務局, [口座番号] みずほ銀行青葉台支店普通 1822883 (銀行振込のみ)

申込先: 微小光学研究グループ事務局 小椋行夫  
〒241-0806 横浜市旭区下川井町 2325-26  
電話 080-5412-0844 Fax 045-954-2777  
E-mail: ogura@comemoc.com

### ナノオプティクス研究グループ第19回研究討論会

日時: 2010年7月15日(木)~16日(金)  
場所: 早稲田大学西早稲田キャンパス  
主催: 日本光学会ナノオプティクス研究グループ  
講演討論内容: 一般講演, ショート講演, 招待講演を予定. 優れた講演には「ナノオプティクス賞」贈呈.  
参加費: 一般5,000円, 学生1,000円  
講演申込方法: E-mailにて講演題目, 氏名, 勤務先, 連

絡先をお知らせください.

講演申込締切: 2010年6月11日(金)  
講演予稿締切: 2010年6月25日(金)  
申込・問合せ先:

慶應義塾大学理工学部電子工学科 斎木敏治  
〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1  
電話 045-566-1784 Fax 045-566-1529  
E-mail: saiki@elec.keio.ac.jp  
URL: <http://www.nano-optics.jp/>

### シンポジウム「光応用計測の最前線」

日時: 2010年7月22日(木) 9:30~17:30  
場所: 東京工業大学大岡山キャンパス蔵前会館 (東京都目黒区大岡山2-12-1)

主催: 光ファイバセンサ国際会議国際運営委員会日本委員会, 東京工業大学精密工学研究所

協賛: 日本光学会, 光波センシング技術研究会ほか

おもな内容: 以下の招待講演 (8件) のほか, 一般講演 (ポスター講演) による構成. ①「光ファイバセンサ国際会議 (OFS) の歩みとフォトニックセンシングの進展」保立和夫 (東大), ②「光給電による汎用的な広域ファイバセンサー網」黒川隆志 (農工大), ③「コヒーレンスホログラフィー—コヒーレンス場を生成・制御する新ホログラフィー技術—」武田光夫 (電通大), ④「ドップラー位相シフトデジタルホログラフィ」谷田貝豊彦, 茨田大輔 (宇都宮大), ⑤「生体とガラスの光マイクロ計測 (仮題)」伊東一良 (阪大), ⑥「正弦波状波長走査干渉法による薄膜形状計測」佐々木修己 (新潟大), ⑦「光ファイバを使った局在プラズモンバイオセンシング」梶川浩太郎 (東工大), ⑧「チャネルド偏光計測—周波数多重による偏光のスナップショット計測—」岡和彦 (北大)

参加費: 無料

定員: 80名

参加申込期限: 2010年7月15日(金)

講演申込期限: 2010年6月15日(火) 参加申込に添えて  
予稿原稿を送付

問合せ先: 光ファイバセンサ国際会議国際運営委員会日本委員会 (担当者) 防衛大学校電気情報学群通信工学科 田中 哲

電話 046-841-3810 Fax 046-844-5911

E-mail: [satoshi@nda.ac.jp](mailto:satoshi@nda.ac.jp)

URL: [http://www.nakamura.pi.titech.ac.jp/ofs\\_symp/](http://www.nakamura.pi.titech.ac.jp/ofs_symp/)

## 「光機器の光学」技術講座

日時：2010年6月15日(火)、16日(水)、22日(火)、23日(水)、7月6日(火)、7日(水)、13日(火)、14日(水)の計8日間、10:30~16:30、

場所：機械振興会館別館4階 日本オプトメカトロニクス協会研修室(東京都港区芝公園3-5-22)

講師：山本公明(KMオプトラボ/元 オリンパス(株))

主催：(社)日本オプトメカトロニクス協会

協賛：日本光学会

参加費：1名につき、一般162,750円、正会員105,000円、賛助会員130,200円、協賛147,000円。テキスト・消費税を含む。

定員：30名

申込期限：2010年6月8日(火)

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp URL: http://www.joem.or.jp

## 19th International Conference on Plastic Optical Fibers (POH 2010)

期日：2010年10月19日(火)~21日(木)

場所：慶応義塾大学日吉キャンパス協生館2階(横浜市港北区日吉4-1-1)

主催：International Cooperative of Plastic Optical Fibers (ICPOF)

協賛：日本光学会

開催内容：プラスチック光ファイバの研究・開発・実用化等に関する国際会議ならびに展示会

講演募集：5月15日(土) アブストラクト提出締切、6月30日(水) 受理通知(口頭発表、ポスター発表)、8月31日(火) 講演要旨原稿提出締切(A4判4枚以内)

電子申込：公式HP (<http://pof2010.org/>) 上のPaper Sub-

missionからの申し込みのみ受付

問合せ先：ICPOF事務局 Local Steering Committee

慶応義塾大学理工学部小池研究室(担当 河合信幸)

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

電話 045-566-1598 Fax 045-562-7373

E-mail: pof@appi.keio.ac.jp URL: <http://pof2010.org/>

## 早稲田大学先進理工学部応用物理学科教員公募

公募人員：准教授、または教授1名

所属：応用物理学科(大学院も兼任)

専門分野等：広い意味での光学に関する研究と教育(兼任する大学院先進理工学研究科物理学及応用物理学専攻では情報・理工学部部門に所属する)

着任時期：2011年4月1日、または以降のなるべく早い時期。

任期：なし(定年は早稲田大学規則に従う)

応募資格：博士学位取得者で私立大学における教育と研究に情熱を持っている方。

提出書類：①履歴書(写真貼付)、②研究業績リスト、③主要論文別刷5編以内、④研究歴と研究概要、⑤着任後の研究計画、⑥大学における教育・研究についての将来像および抱負、⑦照会可能な方2名の氏名と連絡先 ※書類はすべて2部ずつ(コピー可、返却しません)

応募締切：2010年6月30日(水) 必着

提出先：〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 早稲田大学先進理工学部応用物理学科主任 多辺由佳

※「公募書類在中」と朱書き、簡易書留で送付のこと。

問合せ先：E-mail: [koubo@pic.phys.waseda.ac.jp](mailto:koubo@pic.phys.waseda.ac.jp)

<http://www.phys.waseda.ac.jp/WP/> も参照ください。電話、Faxによる問い合わせには対応しません。

### 日本光学会 news の掲載申込先：

〒305-8568 つくば市梅園1-1-1 中央第2 (独)産業技術総合研究所 光技術研究部門

森 雅彦 電話 029-861-5623 Fax 029-861-5627 E-mail: [m.mori@aist.go.jp](mailto:m.mori@aist.go.jp)

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください。

---

日本光学会平成22年度幹事(\*常任幹事)

幹事長：	武田 光夫* (電通大)	
副幹事長：	加藤 純一* (理研)	谷田 純* (阪大)
前幹事長：	谷田貝豊彦 (宇都宮大)	
庶務幹事：	佐々木雄三* (NTTアドバンステクノロジー)	橋本 信幸* (シチズンホールディングス)
	向井 香織* (ニコン)	森 雅彦* (産総研)
	上窪 淳二* (HOYA)	駒井 友紀* (日本女子大)
	松田 二郎* (富士ゼロックス)	宮武 直樹* (リコー)
『光学』編集幹事：	相津 佳永* (室蘭工大)	鈴木 裕之 (東工大)
『Optical Review』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	中楯 末三* (東京工芸大)
国際協力幹事：	西村 吾朗 (北大)	成瀬 誠 (情報通信研究機構)
産学協力幹事：	石樽 崇明 (慶應義塾大)	長嶋 千恵 (豊田中研)
将来問題担当幹事：	佐藤 学 (山形大)	駒井 友紀 (日本女子大)
電子化担当幹事：	松坂 慶二 (コニカミノルタオプト)	田中 哲 (防衛大)
事業・企画担当幹事：	岡野 英明 (東芝)	杉浦 忠男 (奈良先端大)
	忠永 修 (NTT)	辻 俊彦 (キヤノン)
	豊田 光紀 (東北大)	庭山 雅嗣 (静岡大)
	南 功治 (シャープ)	山本 裕紹 (徳島大)
	湯浅 友典 (室蘭工大)	吉澤 達也 (金沢工大)
	粟辻 安浩 (京都工芸繊維大)	大平 泰生 (新潟大)
	岸本 康 (凸版印刷)	小灘 毅 (オリンパス)
	小西 直樹 (九州工大)	式井 慎一 (パナソニック)
	中嶋 芳雄 (富山大)	中野 貴敬 (三菱電機)
	日坂 真樹 (大阪電通大)	尾藤 洋一 (産総研)

---